

団体名 東久留米市市民環境会議 エコなくらしグループ

【活動エリア】 市役所会議室

【活動日】 毎月一回 2時間 不定期

【代表名・問い合わせ先】 市民環境会議委員（公募 任期8月1日～翌々年7月31日）
グループ長・若原 小都美

「レジ袋有料化」

東久留米市も平成29年（2017年）10月からごみの「指定収集袋」での回収が始まりました。それまでに、多くのスーパーマーケットでは、プラスチック製のレジ袋の無料配布を止め有料にしたり、ポイントを付与しました。国は昨年（2020年）7月から店舗でのレジ袋有料化を義務付けました。

義務化の前に、有料になるレジ袋の値段についての市民意識調査アンケートを市主催のイベント「くらしフェスタ・くるめ」で実施し、280名の市民の方にご協力頂きました。

＜アンケート 結果＞

①まず、21歳以上から100歳までのどの年代の方も、

当時8か月後の国のレジ袋有料化の方針を9割の方がご存知でした。

②次にレジ袋の値段について（プラスチック削減のために）いくらが望ましいかの質問では、どの年代も10円がいちばん多く、次に多かったのは41歳から60歳の方は100円、61歳から100歳の方は5円という回答でした。

集計結果から、レジ袋削減のためには、少し高めめの値段の方が効果があるといえるでしょう。

ちなみに私は、マイバッグの中に市の「指定収集袋」を入れ、ロール巻きのポリ袋は使いません。

「海洋プラスチックごみ問題」

レジ袋の原料のプラスチックが川から海へ運ばれて海洋プラスチックごみとなり漂流し続け、海の生き物たちに誤食や絡まりなどの被害を与え、海岸に漂着したたくさんのプラスチックは景観を汚しています。これらの深刻な事態について「2019年G20大阪サミット」にて討議され、2050年までにプラごみ流出ゼロを目指すことが表明されました。

「私たちにできること」

私たちの身の回りを見直してみましよう。たくさんのプラスチックに囲まれて生活していませんか。

家の中の「プラスチック度チェック」

キッチン まな板、食器用洗剤容器、食器洗いスポンジ、乾物の包装材、保存容器等

バスルーム・洗面所 洗面器、シャンプー類ボトル、浴槽、蓋、化粧品用品、ブラシ類、洗濯干し等

トイレ 掃除用品、タオル掛け、消臭剤、スリッパ等

リビングルーム 家電製品、家具、クッション材、カーペット、筆記用具、おもちゃ等

何とたくさんのプラスチックを使っているのでしょうか。

私は買い替え時に「プラスチックではなく、替わりに環境に配慮した物、天然素材の物を探します」

「あなたはこのままの生活を続けますか。」 「少し生活を変えてみませんか。」